

令和5年度第1回 綾部市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時：令和5年5月29日(月)15時00分～15時50分

場 所：あやべ・日東精工アリーナ（市民センター）研修室

1 開会

開会あいさつ 会長 綾部市長 山崎善也

2 委員紹介

出欠状況については別紙「出席者名簿」のとおり

委員・事務局 自己紹介

3 議事

第1号議案 令和4年度事業報告及び決算報告について（原案のとおり承認）

第2号議案 令和5年度事業計画（案）及び予算（案）について（原案のとおり承認）

A委員

昨年1年間協議を行ったうえ完成した計画。この計画・事業を実行していくには綾部市だけではなく、各関係事業者・団体の協力が必要不可欠である。資料の中に進捗管理の記述があるが、1年はあっという間に過ぎる。定期的に計画・項目の進捗状況を確認して、このような場において皆様に情報を共有することが重要である。そのほか、皆様がお持ちの綾部市の公共交通に関連する情報を適宜共有することが大切。

綾部市民の皆様の生活の利便性を高めるために計画を作ったが、市民の皆様は計画ができたことを知らない。市民の皆様にも支援をしてもらわないといけない。関心を持ってもらうために綾部市の公共交通に関する情報を発信していくことを心掛けてほしい。

第3号議案 奥上林地区での交通空白地有償運送の取組について（原案のとおり承認）

B委員

国土交通省では「共創」という言葉をキーワードに交通政策を進めている。交通事業者や自治体だけでは交通の課題は解決できない。住民を含む多様な方々の連携や情報共有があって交通の課題は解決できる。今回の奥上林地区の交通空白地有償運送の取組も地域や事業者にも力を借りながら共に連携しながら一つのサービスを創っていく。また、市が運行するあやバスやタクシーを補完するような形で空白地郵送運送を設計していただいた。まさに「共創」の取り組みとして注目している。これから開始されるが継続していくことがポイント。地域の活動でボランティアになっているため、無理すると続かない。無理のないように進めてもらいたい。

また「奥上林地区の交通と暮らしを考える会」が主体となってサービスを提供し、志摩機械は協力。国土交通省としては「奥上林地区の交通と暮らしを考える会」に対しての空白地有償運送の登録と認識している。

C委員

タクシーへの影響はないので進めてもらいたい。それぞれの役割分担の中で行っていききたい。タクシーもドライバー不足で厳しい状況なので事業については賛成。

質問で、志摩機械の車2台とあるが、運転手は地元の方が。

事務局

運転手についても志摩機械で対応。

4 報告事項

あやバスのダイヤ改正について

あやバスのダイヤは令和6年度が改正の年となっており、次回の協議会で改正案をお示しさせていただきます。

質疑応答

D委員

奥上林地区の空白地有償運送について、利用者の報告をしてもらいたい。今後の取組につながる。

事務局

今後報告できる場を設けるよう検討したい。

5 閉会